

電線のない家見学会

- 日時 2015年4月12日(日) 10時現地集合
現地 豊田市太田町板取34(「旭の田舎暮らし体験施設 板取の家」で検索)
目的 「お金で暮らしを買う」から「暮らしを耕す実践」交流
協力金 2,000円(昼食付)
日程 10:00~ 挨拶、自己紹介、質問(自由に) ⇒ 11:30~ 昼食準備、昼食
⇒ 13:00~ 下野家見学 ⇒ 13:30~ 薪切り、薪割り、薪運び
⇒ 15:00 現地解散

田舎暮らし、4つの壁

「おいでん・さんそんセンター」のウェブサイト(<http://www.oiden-sanson.com/group/sennen.html>)が紹介されています。そこでは、田舎暮らしを希望する若者が増えているなか、4つの壁があると語られています。

①住む家がない

ないならば作ってしまおうと住まい造り講座を開講。受講料5万円×受講生30人を建設資金(現代版〈講〉)として、受講生は自然エネルギーや大工仕事を学び、家を作ります(現代版〈結〉)。住み手は地元と話し合いの上、希望受講生から選出。2012年9月、下野親子が決定。

②生業がない

ないならば小さな稼ぎをたくさんつくっていきます。間伐材を使用した小屋造りのワークショップ実施や、小屋造りキットの販売も予定。

③医療機関がない 基本は自然療法。「心と体づくり講座」を4回実施。

④高等教育機関がない 学校建設は目標段階。

暮らしを耕して2年余、下野家の喜びと悲しみ

- ・独立型太陽光発電の暮らしの喜びと悲しみ
- ・使用蓄電池とその容量、困ったことは?
- ・蓄電池の保守管理
- ・子どもたちの喜びと悲しみ
- ・千年持続暮らし実践から掴んだもの

上記の4つ壁や、
電線のないオフグリッドの暮らしについて
の疑問にお答えしていきます!

中部地域交流会で話し合ったこと

- ①下野家には及ばないが、一枚のソーラーパネル+蓄電池+チャージコントローラーなら、低予算で自作可能。電気をつくる喜びを味わうことができる。
- ②現在の売電システムから遠ざかろうとする努力も必要ではないか。
- ③千年持続学校の実践を第10回暮らし方交流会テーマとして議論を積み上げよう。



主催：太陽光発電所ネットワーク中部地域交流会世話人会
連絡先：株式会社のんびり内 武田善明 名古屋市南区豊1-3-8
☎ 052-692-7070 📠 080-4071-9147
メール zenmei7070takeda@yahoo.co.jp